

2012年(平成24年)4月23日 月曜日

開発センター竣工

三田理化工業 生産能力約1.7倍

三田理化工業(大阪市北区、千種康一社長、06・6458・097



1)は、リニューアルした開発センター(写真、兵庫県西脇市)の竣工式をこのほど行った。同拠点で洗浄・滅菌加工する医療用消耗品のユーザーや、販売代理店ら約55人に披露。千種社長は竣工式で「当拠点から世界品質の製品を提供していきたい」とあいさつし、意気込みを示した。

同センターは医療用消

耗品の洗浄・滅菌加工を行う拠点で、製造部分の延べ床面積が520平方メートル。クリーンルーム整備に力を注ぎ、製造面積の半分以上をGMP(医薬品の製造と品質管理に関する基準)に適合したクリーンルームが占める。クリーンルーム内の空気の流れも管理し、無菌更衣室を設け、無菌操作できるエリアも設けた。

設備増強や歩留まり向上で、生産能力をリニューアル前と比べて約1.7倍の年間50万本へ高めることを目指す。